

令和7年度 12月の補導活動

佐久市少年センター

1 街頭補導実施回数	14回
2 延べ従事補導委員数	56人
3 相談件数	0件
4 補導した少年数	0人
5 声かけ人数	299人



12月の活動日誌から

12月1日（月） 学校訪問（野沢北高等学校）

専門補導員記

概要

校長先生と生徒指導主事の先生の2名に対応いただいた。校長先生からは、1、2年生はクラブ活動と勉強に励んでおり、3年生においては受験に備え、より一層勉強に集中した時間の使い方をしているようだ。生徒指導主事の先生から説明いただいた学校の様子には、1、2年生は地域との連携を重視した探求学習を実施していることも含まれていた。一方、生徒



の自転車通学率が高く、交通事故に対する心配が大きいとされていた。近年、大きな事故の発生はないが、軽微なものは数件確認されているようである。また、最寄り駅の駐輪場不足も懸念材料で、駐輪場でのタイヤの切りつけや部品盗難、自転車の盗難等の事案が報告されている。こうした問題については、関連する機関への協力も依頼しているそうだ。数年後に予定されている高校統合に伴う生徒数の増加については、学校駐車場の整備など、準備が進められているとうかがった。

学校訪問に準備された会議室と同じ棟に移動する生徒に話しかけてみたが、問い合わせをしつかり聞き留め、返答してくれた。その対応には相手への敬意や落着きを感じた。また、高校生らしい素直さがあり、清々しい気持ちになった。

12月2日（火）

4班 (K・M) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → 曽根公園 → ゲームセンター
→ ねむのき公園 → やまぼうし公園 → 近津南公園

活動の様子

本日の街頭補導活動は、主に長土呂区の公園を巡回した。集合場所である大型ゲームセンターには大人が数人いる中、小学生が1人でいたので声をかけたところ、お父さんと一緒に来ており、お父さんが別のゲームをしているので店内で遊んでいたとのこと。その後、曽根公園を通ったが誰もおらず、長土呂区へ移動し、3つの公園を巡回した。子どもたちの動向を観察すると、春期・夏期は近津神社を中心とした長土呂区の西北、秋期・冬

期は住宅の駅北や駅の近くに子どもたちがいるようで、秋期・冬期は日が暮れるのが早いため、子どもたちも遊ぶ場所を考えている様子である。ねむのき公園や近津南公園は、通りに面しており、大人の通行も多いので比較的安全であるが、子どもたちに交通ルールを遵守するように呼びかけることが重要だと感じた。ねむの木公園には、中学生2人と小学生2人がそれぞれ遊んでいた。先週くらいまでは学校でインフルエンザが流行っており、学級閉鎖であったが、今はようやく落ち着いてきたと話してくれた。いつもは子どもが大勢いる近津南公園には、珍しいことに誰もおらず、一抹の寂しさを感じた。

12月3日（水）

19班（S・J）記

巡回経路 望月支所 → 若駒児童公園 → 望月児童館 → 布施温泉公園
→ バスター・ミナル → 望月支所

活動の様子

図書館から巡回を開始した。母親に連れられた2人の子どもが本を借りていた。本を嬉しそうに持つ子どもの笑顔が印象的だった。若駒児童公園に人影は無く、児童館へと向かった。児童館では、子どもたちの甲高い声が響きわたっていて、遊戯室で遊ぶ児童、ドリル帳に取り組んでいる児童、本を読む児童と各自が時間を過ごしていた。布施温泉公園に向かったが、温泉施設が休館日だったせいか、公園に人影は無かった。最後にバスター・ミナルに行ってみた。停留所の中に一人、本を読んでいる男性がいて、聞いて見ると近くの高校に通う男子生徒だった。「乗りたかったバスに遅れてしまい、次のバスを待っているところです」とのことだった。時刻表を見てみると次のバスまで1時間はあった。「風邪などひかないように気をつけてね」と言うと、「はい、ありがとうございます」と返してくれた。読書の時間が作れたと思えば、バスを待つ時間も良しとするところか…。

12月4日（木） 学校訪問（野沢南高等学校）

9班（A・M）記

概要



今回、野沢南高校を訪問しました。同校の教頭先生と生徒指導担当の先生に面会し、学校内外の様子をうかがい、意見交換をしました。当方から少年センターの活動概要説明と自己紹介をした後、学校側からの報告を受けました。現在の生徒数は553名（全日制508名、定時制45名）、（男子252名、女子301名）であり、伝統的に女子生徒が多いとのことです。教育目標として「グランデデザイン」には3つの「ゆう（友・優・結）」が掲げられ、各学年別の重点目標を設定するという教育体系の説明がなされました。部活動では、ほとんどが県内までの大会出場ですが、一部の部活動は、県外の大会へ出場し活躍しているそうです。生徒指導上の問題では、大きな問題は無く、生徒たちは全体的に落ち着いた学校生活を送っているとのことです。なお、細かい問題では、学校外からのクレーム報告として「自転車の乗り方のルール違反やマナー問題」、「電車乗車時のマナー問題」が、また、生徒からの報告として「不審者らしき人から声かけがあった」、「他校生らしき人からからまれそうになった」などがあったそうです。直近では、学校内でのインフルエンザ感染の影響で、期末試験が部分的に延期になったとのことです。12月のこの時期

は、インフルエンザの感染対策や進路の問題など、先生も生徒も気が休まらない日々が続きます。

12月5日（金）

15班 (F・J) 記

巡回経路 中込会館 → 横町公園 → 佐久城山児童館 → 平賀新町公園
→ 橋場公園 → 成田公園 → 成知公園

活動の様子

師走を迎えた5日の午後は、積雪があった前日からの冷え込みもあって、成知公園のほかは、どの公園にも子どもたちの姿はありませんでした。小学校に隣接している佐久城山児童館では、大勢の子どもたちが館外で縄跳びなどに興じていました。寒風の中でも元気に遊ぶ子どもたちのようすに、頬もしさを感じました。本児童館を利用する児童は、多い日には160名ほどになると聞いて驚きました。児童館のような子どもたちの居場所は、親御さんにとってはとてもありがたく、安心できる場所ですが、もう少し職員を増やしていただけだと、一人一人の子どもたちにも目が行き届くのではないかと感じました。最後に回った成知公園では、四阿（あずまや）でゲームをしたり、芝生の広場でドッジボールをしたり、遊具エリアのブランコに乗ったりして、20名ほどの子どもたちが元気に遊んでいました。



12月8日（月）

5班 (K・T) 記

巡回経路 大型スーパー → 砂田公園 → 市民交流ひろば → 中佐都児童館
→ 大型スーパー

活動の様子

私達にとって、本年最後の街頭補導活動は、佐久平の大型スーパーを出発して始まりました。最初に訪れた砂田公園に人けはありませんでしたが、周辺地域は開発が進み、ますます賑わいを見せっていました。その後、市民交流ひろばに移動すると、多くの親子連れの姿が見られました。近年開校された小学校に通う女子児童に話しかけると、御代田町から通学しているそうです。次に、中佐都児童館へ向かいました。児童館に近づくと、大勢の子どもたちが、屋外の庭で遊んでいました。人数を数えると、40名ほどの児童がおり、寒さを感じさせない活気ある姿に驚かされました。また、館内には、じょうずな一輪車を乗りこなす子どもたちがおり、手をつないだり、追いかけ合ったりして、楽しそうな雰囲気があふれていました。最後に大型スーパーのゲームコーナーとフードコートを巡回しました。月曜日でしたが、多くのお客様がおり、師走の賑わいが感じられました。活動が終わり、1年間お世話になった専門補導委員の皆様にお礼を申し上げ、本年最後の補導活動を終えました。ありがとうございました。



12月9日（火）

10班（H・F）記

巡回経路 生涯学習センター → 野沢多目的広場 → 原公園
→ 城山公園 → 東田公園 → 生涯学習センター

活動の様子

佐久特有の澄み切った空のもと、日没が早くなり、一段と強い冷え込みを感じながら巡回した。冬季期間は巡回時間が早まったためか、生涯学習センターはいつもより子どもが少なく、小学生6名・中学生9名程が勉強したり、タブレットやゲーム機などでゲームをしたりしている最中だった。2階の学習室では、中学生が勉強道具を広げたまま熟睡していたが声かけはせず、次の野沢多目的広場に徒歩で向かった。ここは相変わらず自転車利用者が多く、20台程停まっていた。外の芝生エリアは小学生12名、中学生4名がサッカーを楽しんでいた。ベンチにいた成人男性に話を聞くと、子どもたちがサッカーボールを高く蹴り上げ、ネットを越えて道路に出る危険な場面が見られたが、それを注意する管理体制が不十分ではないかと心配の声。帰り際に「ネットを越えるキックはしないでね…」と声かけをしてその場を後にして原公園では、放課後等デイサービスの職員引率のもと、子どもたちが鬼ごっこをしていた。城山公園は誰もいなかった。東田公園では、幼児を含む家族連れ2組がすべり台で活発に遊んでいた。芝生養生中のため、遊べない状態の野沢多目的広場と、雑草が生えて遊具がある公園での利用者の姿を目にし、複雑な心境で本日の活動を終了した。

12月10日（水）

2班（K・N）記

巡回経路 浅間会館 → 中央公園 → 湯川親水公園 → 鼻顔公園
→ 岩村田公園 → 一本柳公園 → 若宮公園 → 砂田公園

活動の様子

師走に入り「日中は暖かな陽射しがあるも、夕方になると冷え込んでくる」そんな日でした。外の温度は8℃と表示されていたため、こんな寒い中、公園に子どもたちはいるだろうか？と公園に向かいました。すると、中央公園には小学生の兄弟が2人、岩村田公園にはおばあちゃんとお孫さん、一本柳公園には中学生が4人と、たくさんの子どもたちが遊んでいる姿を見ることができました。一本柳公園では、小学生がサッカーやバトミントンを楽しそうにしていました。その中の1人の男の子は、真っ赤な顔で半袖・ハーフパンツ姿でサッカーボールを友だちと一生懸命追いかけていました。まさに“子どもは風の子！”という言葉を目の当たりにできた公園での一コマでした。また、砂田公園では中学生4人が学校の体育で行っているヒップホップのようなダンスの動きを1つ1つ友だちと合わせながら、3週間後にある授業での発表にむけて練習を頑張っていました。中学での多様な取り組みや、子どもたちが寒い中、ダンスを自主的に練習する様子が見られた巡回でした。

12月11日（木） 学校訪問（佐久長聖高等学校）

1班（N・K）記

概要

佐久長聖高等学校を訪問し、情報交換を行った。副校長ならびに生徒指導主事からお話をいただいた。内容の要旨は、「在校生は現在930名、県外生徒は全体の20%ほどで、生徒のほとんどが大学に進学している。教育面での大きな特徴の一つとして『国際教育（英



語教育)』に力を入れている。英語をコミュニケーションツールとして使い、国際的な視野を広げることを目指した教育活動である。部活動も活発で、多くの部が全国大会に出場するなど、成果を挙げている。生徒指導上の大きな問題は発生していないが、自転車の乗り方や公園の使い方など、学校外での行動で問い合わせの電話をいただくことがあった。また、本校生徒が公園にいた際、自動車の中から姿を写真撮影される被害にあった。これについては、警察署に連絡した。本校には、生徒手帳がなく、また明文化された校則がない。社会のルールを守ることはもちろんだが、その行為が高校生としてふさわしいのかどうか考えさせるようしている。」とかがった。間近に迫った全国高校駅伝での活躍をお祈りし、佐久長聖高等学校を後にした。

12月12日（金）

17班（I・S）記

巡回経路 眞田交番 → 下の宮公園 → パチンコ店 → 真田児童館
→ コスモホール

活動の様子

午後3時半からの活動でした。活動開始時の気温は0℃と、真冬並みの寒さの中、下の宮公園には、誰もいませんでした。次にパチンコ店を訪問しました。3か所の入り口には、青少年健全育成協力店のステッカーが貼られており、店長さんのお話では、入店者の18歳未満の確認は、声かけおよび身分証明書の確認で行い、20歳未満の景品交換では、身分証明書で確認し、酒、たばこは交換しないとのことでした。青少年の健全育成に力を入れている印象でした。また、駐車場の車内に幼い子どもが置き去りにされていないかの確認もしているとのことです。眞田児童館にうかがうと、低温のため、庭で遊ぶ子どもはいませんでした。夏に訪問した際は、高温で外遊びができなかったことを思い出し、少し複雑な思いでした。それでも、遊戯室で5人、図書室で3人、集会場で4人と、子どもたちはそれぞれ元気に過ごしていました。佐久病院、千曲川堤防通り、コスモホール、眞田小学校、中央商店街にも子どもたちの姿はありませんでしたが、かろうじて、下校途中の児童が元気よく帰りを急ぐ姿に安心しました。

12月15日（月）

13班（T・T）記

巡回経路 中込会館 → 駅前駐輪場 → 横町公園 → 水上公園 → 橋場公園
→ 成田公園 → 成知公園 → 中込児童館 → 学童保育
→ 野沢多目的広場 → 生涯学習センター

活動の様子

夕方は肌寒いこともあり、各公園にはほとんど人影は見られなかった。中込児童館には1、2年生を中心に約70人の児童が集まっていた。午後4時を過ぎ気温が低下している中でも児童らは元気に外に飛び出し遊んでいた。学童保育では、低学年を中心に21名の児童がおやつを食べていた。年内は27日までとのこと。生涯学習



センターには、小学生から高校生まで約25人が軽食をとったり学習したりしていた。総じて、公園には人影がなく、児童館や生涯学習センターに子どもたちが集まっていた。

12月16日(火)

事務局職員記

視察研修

本日は佐久市少年センター補導委員協議会の視察研修で、補導委員と専門補導委員、事務局職員の合計19名で、松本市の児童自立支援施設波田学院と児童養護施設松本児童園へうかがった。はじめに、波田学院の職員から施設概要の話を聞き、施設の見学を行った。波田学院は、自立が難しい児童の生活支援・作業活動・学校教育・環境調整の4つの柱を基に、自立を支援する施設である。もし児童自立支援施設を退所した児童が近所にい



た場合にどのような支援ができるかという補導委員からの質問に対しては、地域で見守る優しく温かい目があるとありがたいとのことだった。続いて、松本児童園では、理事長と施設長から施設概要の話を聞き、施設の見学を行った。松本児童園は、松本市民生委員・児童委員協議会を母体として運営している全国でも珍しい施設である。本体施設の他、実際の自宅のような小規模施設、里親の家庭で過ごして

いる子もいるとのこと。また、園を退所後には無利子の奨学金などもあり、アフターケアにも努めているとのことだった。施設内は自宅のようにホッとする環境で、また園内には公園のような遊び場もあり、子どものために充実している施設だと感じた。今回の視察研修では、様々な環境の子ども達がいる実状を知ることができた。補導委員協議会として、地域でできることをやっていきたいと感じた。



12月17日(水)

2班(A・N)記

巡回経路 大型スーパー → 砂田公園 → 市民交流ひろば
→ ミレニアムパーク → 近津南公園 → ねむのき公園
→ カラオケ店

活動の様子

補導の前日は、補導委員協議会視察研修として、児童自立支援施設・児童養護施設を視察してきました。施設の職員のみなさんの支援が想像以上に大変であることと、施設退所後の就職や社会生活がいかに困難であるかを理解しました。私たちが社会において、こうした児童に対し、やさしく・温かく・敬意を持って接することが必要であると感じました。これは補導委員活動の心構えである「愛情と理解」と同様であると思います。さて、本日は寒い中、公園・カラオケ店を巡回しました。人影のない公園がありましたが、市民交

流ひろばには、親子連れ、小学生、高校生があり、仲間同士で楽しそうに遊んだり、学校行事である陸上競技の練習を元気にしたりしている中学生がいました。ミレニアムパークでは、生徒が指導者とともに真剣にスケートボードの練習をしている姿が印象的でした。カラオケ店では、午後4時過ぎとは言え、多くの利用者がありました。施設の利用について、小学生、中学生、高校生それぞれの利用制限について店員から説明を受け、適切に対応されているようでした。

12月18日（木）

18班（K・E）記

巡回経路 浅科支所 → 大型スーパー

活動の様子

今までの浅科地区の巡回活動の状況から、当地区の公園等に子どもはいないだろうと予想されました。専門補導委員から「地区外ではあるが、大型スーパーを巡回してみてはどうか」との提案を受け、佐久平方面へ向かいました。大型スーパーのフードコートには、高校生のグループが何組か見られました。その中で、3人の女子生徒のグループに話を聞きました。3人は高校の友達で、学校の帰りに立ち寄ったとのことでした。他のグループも、勉強したり、談笑したりしており、特に問題となる様子はうかがえませんでした。次に、ゲームコーナーに寄ると、子ども3人が遊んでいました。親の姿が見えなかつたため、尋ねると、母親が別の場所に居るとのことで、母親の居る場所に案内してくれました。母親に私たちの仕事を説明し、子どもたちの安全に配慮するようにお願いすると、母親は恐縮し、謝意を示してくれました。その他は、気になる子どもの姿は見られませんでした。40分ほどの巡回でしたが、他地区の様子を知ることができて有益な活動でした。

12月19日（金）学校訪問（高瀬小学校）

6班（Y・H）記

概要

高瀬小学校を訪問させていただき、教頭先生より学校および児童の様子を伺いました。教育目標に「・つよく・かしこく・うつくしく」を基本として掲げ、さまざまな活動が計画されていました。子どもたちの将来を考え、行動する力を養う教育が実践されていると感じました。また、道徳にも力を入れていました。問題が発生したときは、全校児童と教職員が問題点について解決策を考え、子どもたち自らが行動して再発を防止していると伺うことができました。学校前の道路の道幅が狭く、通勤ラッシュなどによる交通量も多いため、各地区のシニアの方々が通学時に児童を事故から守る「見守り隊」として活動しています。このことは、学校側も大変感謝しているとのことでした。私たち補導委員も地域の安全のため、しっかり巡回活動をしようと感じました。



12月22日（月）学校訪問（野沢中学校）

12班（S・M）記

概要

今回は野沢中学校を訪問しました。中学校側から校長先生と教頭先生が出席され、当方からは5名が出席し、情報交換をしました。専門補導委員から補導活動の概要を説明後、中学

校側から学校の概要や生徒の状況などの説明がありました。生徒数は460名で、2、3学年が5クラスあるのに対し、1学年は4クラスと減少しており、来年度もこの傾向が続くようです。不登校の生徒への対応では、中間教室の活用や個別の指導を通じて、改善がみられているとのことでした。生徒は素直ですが、自己肯定感が低い傾向にあるとのことです。学習



面では、総合的学習のあり方について、地域との関わりや生徒の自主性を重んじることを重視しているとかがいました。部活動については、地域クラブを含めて大きな成果を上げています。来年3月までに、土・日・祝日の運動部活動の地域移行が決まっているそうですが、生徒数の減少や指導者の問題などもあり、部活動は過渡期にあると思いました。SNSの問題については、本人とは別アカウントを使ったりじめや、学習用タブレットの不正利用など2件

を把握し、対処済みのことです。生徒の自転車使用について、巡回中に危険を感じたことがあり確認すると、自転車使用に伴う事故は2件発生しているとのことでした。少年センターとして、交通安全の指導をお願いしました。

12月23日（火）

8班 (M・Y) 記

巡回経路 大型スーパー → 砂田公園 → 市民交流ひろば
→ ミレニアムパーク → 近津南公園 → ねむのき公園
→ 枇杷坂公園 → 大型スーパー

活動の様子

今年最後の巡回日になりました。外気は冷たく、暑さの続いたこれまでの巡回日とは打って変わった日になりました。大型スーパーに集合して公園を巡回しましたが、これまでと違い、公園に子どもたちの姿が有り、また、公園の数が思ったより多いことに驚きながらの巡回でした。砂田公園では数組の中学生が家族の迎えを待っている様子でした。市民交流ひろばでは、未就学の子ども連れの姿や、中学生、高校生の姿もあり、寒空の下、楽しげに過ごしていました。近津南公園も巡回しましたが子どもの姿はなく、ミレニアムパークへ向かうと、10人くらいの男子中学生がバスケットボールをしていました。ねむのき公園を巡回し、女子高校生の2人連れに声を掛け、在籍高校の違う生徒でしたが中学校の同級生だと聞きました。枇杷坂公園では、5人の中学生が野球をしていましたが、話を聞くと、ピッチャーをしている生徒は、高校へ行ったら野球部に入りたいと話してくれました。大型スーパーに戻り、ゲームセンターを巡回し、大勢の子どもたちがゲームをしている姿を確認しながら、挨拶をしたり、声かけをしたりして回り、本日の巡回を終える事としました。

12月24日（水）

14班 (K・T) 記

巡回経路 中込会館 → 佐太夫町公園 → 横町公園 → 水上公園
→ 橋場公園 → 成田公園 → 平賀新町公園 → 佐久城山児童館
→ 宇とう公園 → 中込駅

活動の様子

雨模様の中、中込会館から該当補導活動を開始しました。まず中込地区の公園7カ所を

巡回しましたが、子供達の姿は見られませんでした。続いて佐久城山児童館に向かったところ、館内には約120名前後の児童が利用していました。遊戯室は室内が広く、元気にバトミントンをしている児童、また図書室では本を読んでいる児童がありました。館長さんに利用率など聞いた所、1日平均で約100～140名が利用するとのことで、城山小学校の総児童数を考慮した場合の利用率は市内でも高く、児童達に必要な場所だということを認識しました。児童館を後にして、宇とう公園に向かいましたが、天候の影響もあり児童の姿は見られませんでした。最後に中込駅に向かいましたが、駅前の駐輪禁止場所に学生の姿が見られたため、専門補導委員から声かけする場面もありました。今年も残りわずかとなりましたが、来年以降も引き続き委員活動を行っていきたいと思います。

12月25日（木）

16班（I・K）記

巡回経路 あいとぴあ → 生涯学習センター → 多目的広場

活動の様子

この時期としてはめずらしく、冷たい雨がしとしと降る中、専門補導委員2名に同行いただき、補導活動を実施しました。今回は天候を考慮し、臼田地区ではなく、冬休み前の子どもたちが集まりそうな野沢地区の生涯学習センターと多目的広場を巡回することにしました。生涯学習センターの「つどいの広場」には、40人から50人ほどの子どもたちが、友達と楽しそうに会話したり、勉強したりしていました。4名の女子中学生に声をかけると、他地区から来た生徒で、この施設をよく利用しているとのことでした。2階の学習室には、12名の高校生が机に向かって真剣に勉強していました。学習室は利用の際、利用申請を提出する必要があることですが、とてもよい学習環境であると感じました。



多目的広場の交流スペースに立ち寄ると、2学期の終業式が終わったばかりの小学生が、24名ほど集まっていました。友達と教え合いながら冬休み中の宿題をしたり、ポンボンドロップシールを見せ合って、気に入ったものを交換したり、どの子も楽しそうに過ごしていました。人工芝広場では、雨の中6、7名の小学生がボール遊びをしていましたが、雨に濡れてかぜでもひかないかと心配になりました。今回初めて野沢地区の新しい施設を見学できました。充実した施設に感心する一方、臼田地区にもこうした施設の整備をお願いしたいと感じました。

12月26日（金）

7班（H・K）記

巡回経路 浅間会館 → 平根児童館 → 東児童館

活動の様子

浅間会館に集合して活動を開始しました。今日は日中、雪が舞う寒い日でしたので、屋外で遊ぶ子どもはいないだろうとの予想から、2か所の児童館を回りました。平根児童館は、今日から小学校が冬休みということで、お弁当持参で来ている子どももいるそうです。訪問した時点で、すでに半分くらいの子どもは帰った後だったそうですが、それでも23名くらいの子どもが、館内で仲良く遊んでいました。遊戯室でフラフープを使って遊んでいる児童にカメラを向けると、2年生の男子から「知らない人に写真を撮られるのはい

けないことだ」と言わされました。館の職員がしっかりとフォローしてくれましたが、今の小学生はしっかりしているなあと感じました。次に、東児童館へ向かいました。到着すると、児童館の外にまで、子どもたちのにぎやかな声が聞こえてきました。インフルエンザがはやっているらしく、今日の利用者は25~26名と、いつもよりだいぶ少ないとうかがいました。女子の割合が多くたですが、楽しそうにフラフープで遊ぶ子どもたちは裸足で、私たちに元気な姿を見せてくれました。児童館は、12月29日から1月3日の間、休館となります。子どもたちが健康で明るく年末年始を過ごせるといいなあと思いました。



12月の活動を終えて 少年センター事務局（T・H記）

2026年（令和8年）の新春を迎えました。

皆様におかれましては、穏やかな年末年始を過ごされたことと存じます。

昨年の活動を振り返り、大過なく終えることができましたのも、委員の皆様の多大なるご協力のおかげです。

さて年末年始、テレビの前で心を熱くされた方も多いのではないでしょうか？特に、年始に行われた箱根駅伝では青山学院大学が10時間37分34秒の大会新記録で3連覇を達成しました。1区の出遅れを黒田朝日選手が5区で逆転して往路優勝を飾り、復路でも圧倒的な強さを見せた姿は、まさに日頃の鍛錬の賜物であると感じました。

最後まで諦めずに襷（たすき）を繋ぐ大学生たちの姿は、これからの中を担う青少年の力強さを象徴しているようでした。

2026年（令和8年）の本年が午年にちなみ、何事も「ウマ」く運び、さらなる飛躍の年となりますこと、子どもたちにとって、そして皆様にとって安寧な一年でありますよう心からご祈念申し上げます。